

阿波市議会だより

第5号 [平成19年9月1日]

発行/阿波市議会 編集/議会広報特別委員会
〒771-1792 徳島県阿波市阿波町東原173番地
電話 0883-35-4118 FAX 0883-35-4150

平成十九年第二回(六月)阿波市議会定例会の概要

六月定例会は、六月十二日から七月四日までの二十三日間の会期で開かれました。
開会日には、小笠原市長が、行政報告として当面する市政の重要課題等について所信を述べました。このあと、補正予算案、条例の一部改正、契約案件など計十七件の議案に対する提案理由の説明がされ、契約案件一件が可決されました。また、前議長の辞任に伴い議長選挙が行われ、三木康弘氏が第三代会議長に選出されました。
代表・一般質問では、十四人が市政全般について考えを問われ、財政運営、まちづくり、農業施策、教育施策、防災対策、庁舎建設などが論議されました。
六月二十二日には、人事案件四件が同意されました。閉会日には、常任委員長による委員会審査の報告後、市長提出議案十二件が可決・認定されました。

代表質問

月岡永治 議員
(志政クラブ)



庁舎建設について、部課の

統合により、何処が主体になり事業を推進するのか。また、効率的な行政をするための本庁方式の採用、議会と住民の理解を得るための方策は。
【答】 四月の組織再編により、企画課がスタッフ制で担当している。今後議論が進み重要事項が決定すれば、事業推進に対処するべく体制で取り組みたい。また、防災拠点としての役割、ワンストップ窓口の設置、ユニバーサルデザインによる庁舎整備

など利便性を高めると同時に、有利な資金調達が可能で合併特例債の活用を考えている。
【問】 中央広域連合について、本市の防災対策と、中・西消防署との連携をどのように行っているのか。また、火災発生件数と緊急出動の状況は。
【答】 市防災対策課との連携はもちろぬ、消防団の指導、自主防災組織等の防災訓練や救命講習の実施等、日頃から連携をとり対処している。また、災害時には、消防署職員の出動等、消防本部派遣や災害現場出動等の協力をお願いしている。平成十八年の一年間の火災発生件数は、計十二件(うち建物八件)となっている。十九年一月から五月までは計十五件(うち建物九件)である。阿波市での救急車の出動状況は、十八年の一年間で、出動が千二百七十二件、搬送が千二百二十七人となっている。

【問】 AEDの設置について、早急に対応していただきたい。
【答】 未設置の八校についての予算を次の議会でお預りしたいと考えている。今後とも安心・安全な学校づくりに努めたい。
【問】 河川内の樹木の伐採除去について。
【答】 県の事業予算については、補正予算が成立した後の七月中旬頃、各市町村担当課長会議があり、その折りに予算配分等が協議されるので、その席で特に強く要望していきたい。

【問】 庁舎建設について、合併協定書をどのように考えているのか。また、建設するとすれば、場所と時期の見通し、規模はどの程度で計画しているのか。
【答】 庁舎は建設する。場所は土成町内という気持ちに変わりはなく、特別委員会等でも十分審議いただき、相ともに一日も早くシンボルとしての庁舎をつくらうという気持ちである。



吉川精一 議員
(飛翔)

【問】 国民年金納付記録の保管について、現在の状況をお聞かせいただきたい。
【答】 旧町それぞれ整理の仕方は違いますが、平成十四年三月末までの間、阿波市では五万四千件の記録があり、旧町の年金システム、また台帳において保管している。

【問】 教育コンピュータ整備事業一億六千七十万円についてであるが、故障が起きた場合に他の学校から端末を取り寄せたり、一時的な人員の増減に対応したり、購入金額も多少なり安い額で購入できたり、また、技術革新も早く耐用年数も限られることから、対象校全部のものを一括購入したかどうか。
【答】 市内すべて統一した一括購入というところで入札を執行する予定である。

【問】 削減となっており、国庫補助の新規採択等には厳しい状況と聞いている。昨年から当面の措置として、県単独事業で、現道拡幅部の用地取得が容易な箇所から待避所等の確保をするという。
【問】 県の事業予算については、補正予算が成立した後の七月中旬頃、各市町村担当課長会議があり、その折りに予算配分等が協議されるので、その席で特に強く要望していきたい。



稲岡正一 議員
(新政クラブ2)

【問】 庁舎建設について、合併協定書をどのように考えているのか。また、建設するとすれば、場所と時期の見通し、規模はどの程度で計画しているのか。
【答】 庁舎は建設する。場所は土成町内という気持ちに変わりはなく、特別委員会等でも十分審議いただき、相ともに一日も早くシンボルとしての庁舎をつくらうという気持ちである。

【問】 公共下水について、総合計画の進捗状況は。旧市場町の下水道工事の指定解除と、これに伴い合併浄化槽補助金を受けられない方への対応をどう考えているのか。
【答】 下水処理のあり方についての検討委員会において、現在検討しており、今年度中に結論が出るはずなので、結論が出たときに議会の皆さんによく相談をして良き方向を見出していきたいと考えている。

【問】 阿波病院前から堤防中段道路の工事について、現在の進捗状況は。
【答】 平成十二年四月の編入手続の完了後、道路概略計画を実施しているが、未だ手つかずの状態である。県の道路予算も大幅

一般質問

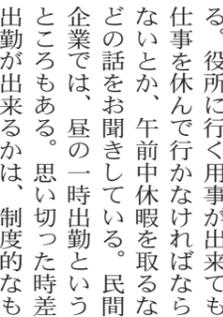
江澤信明 議員
(無所属)



【問】 自治体財政の収支状況を、特別会計や第三セクターを含めた連結ベースで決算しなければならぬ法案が成立したが、阿波市では対象となるものはどれくらいあるのか。また、健全度はどうか。
【答】 対象となる特別会計が八つ、一部事務組合が八つ、法人が二つある。法案が成立したばかりなので数字的には詳しく分らないが、検討、研修中である。
【問】 四町が合併し、市の保有する公有地、施設等は数多く、また広くなったと思うが、有効に利用されているのか、不要なもの売却も含め検討してはどうか。
【答】 公有地の面積は、七百三十ヘクタールで、施設は二百九十ある。市民の貴重な財産であるので、有効活用し不要なものは処分等も検討していく。

【問】 高齢化社会において老人の交通手段を確保するために、駅や拠点病院を中心とした巡回バスの運行を福祉政策の一つとして考えられないか。
【答】 バス運行となると、既存のバス会社との利権関係があり難しいと思う。タクシー等が利用できるサービス券などの政策が出来るか担当課とよく協議していく。

【問】 市役所職員の時差出勤を考えたかどうか。やはり市役所は住民サービスが原点でないかと思う。今、核家族化が進み共働きをしている家庭がたくさんある。役所に行く用事が出来ても、仕事を休んで行かなければならないとか、午前中休暇を取るなどの話をお聞きしている。民間企業では、昼の一時出勤というところもある。思い切った時差出勤出来るかは、制度的なものを含め、さまざまな兼ね合いがあると思うがどうか。
【答】 時差出勤は、一日の勤務時間を変更しないで、出勤及び退庁の時刻を通常から変更するものである。全国的には、行政機関で実施されているほか、行政の呼びかけにより企業で取り組んでおり、主に通勤による交通渋滞を緩和する目的で実施されている。県下の市においては、現在のところ実施しているところはない。ご質問の、阿波市における時差出勤については、住民サービスの向上を図るため、市役所業務の時間を延長するというものである。実施するに際してはいろいろな問題があると思うが、少し時間をいただき、様々な角度から調査研究をしたいと考えている。



児玉敬二 議員
(無所属)

【問】 保育所への指定管理者制度の導入は、経費の削減、サービスの向上、地元雇用の拡大にはならないと思うが。
【答】 保護者等の検討委員会を設け、多様な意見を聞いた上で慎重に結論を出したい。
【問】 市独自の農業施策の為に、大学、企業、消費者等による調査検討協議会を設置しては。
【答】 協議会については、勉強しながら検討していきたい。
【問】 体験交流宿泊施設に公民館等を利用しては。
【答】 現存公共施設等の利用を、関係課と協議、検討したい。
【問】 善入寺島に未熟発酵汚泥が大量に持ち込まれた問題。
【答】 畑の占有者に、国交省などと連盟で要望書を出したが、撤去されないままである。解決に向けて関係機関と協議する。

【問】 農業施策について、他産業との格差(所得格差等)が次第に開いている。冬場の遊休農地の活用について、美馬市においては、麦作団地を形成し面積等の基準を満たせば、三十キログラムにつき二十円程度の補助金が農協を通じて国から交付されるようであるが、なぜ阿波市では交付されないのか。
【答】 本市の基幹産業の農業は、平成十七年度産出額が百六十九億円で県下一位であるが、農業従事者の減少で厳しい状況となっている。平成十八年度末の認

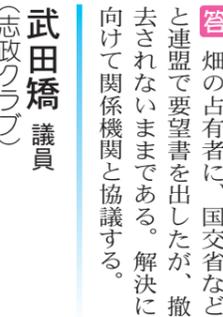


松永 渉 議員
(無所属)

【問】 臨時保育士の現状は、地公法の臨時的任用職員とはいえない。また、保育所は交付税措置(最低経費)の約四倍も使われ

定農業者数は四百九十三名、これも県下一位である。麦作への補助金の件であるが、十分な資料がない。遊休農地の利用促進の面から今後協議をしたい。
【問】 自分の国の食糧は自分で賄うという方針のもと、十年、二十年先のことを考えて取り組んでもらいたい。また、農業は環境にも貢献している。
【答】 国は、大規模事業者や担い手の育成には力を入れているが、零細農家が置いていかれるような気がする。市の農政課をはじめ関係部署は、先ほどの麦作の補助金等様々な協議が出来るよう、勉強して意に添いたいと思っている。農業を市政の中心として取り組みたい。

【問】 最後に、基でいえば基盤全体を見て、格差のない、持続して発展する政策をとってもらいたい。
【問】 幼稚園、小・中学校の運営方針を聞きたい。
【答】 知育、徳育、体育、食育を重視し、心豊かで思いやりのある優しい子供、個性と創造性を備え、たくましく生きていく子供、確かな学力と規範意識を持った子供を育てたい。そのため、幼児教育の充実や、学校教育に体験的、実践的な活動を多く取り入れている。



武田 矯 議員
(志政クラブ)

【問】 学校施設の耐震化対策は、十二校あり、順次改修を進めている。
【問】 行財政改革を進める中で、福祉政策をどのように推進していくのか。
【答】 養護老人ホーム吉田荘、市場地区の児童館については、民営化や指定管理者制度の導入について調査、検討を重ねている。保育所運営については、各方面

【問】 養護老人ホーム吉田荘、市場地区の児童館については、民営化や指定管理者制度の導入について調査、検討を重ねている。保育所運営については、各方面



笠井高章 議員
(無所属)

【問】 幼稚園、小・中学校の運営方針を聞きたい。
【答】 知育、徳育、体育、食育を重視し、心豊かで思いやりのある優しい子供、個性と創造性を備え、たくましく生きていく子供、確かな学力と規範意識を持った子供を育てたい。そのため、幼児教育の充実や、学校教育に体験的、実践的な活動を多く取り入れている。

からの意見を聞き方向づけをし
たい。

将来の市町村合併や庁舎建
設の是非についてどう考えてい
るのか。

経費の削減、人員の合理化
を進める上では、行政拠点の集
約が必要と考える。次の市町村
合併の話は具体化していないが
将来においてはわからない。

正木文男 議員 (無所属)



新市誕生後三年目を迎え、
阿波市まちづくりをどの様に進
めようとしているのか。合併特
例債が使える十年間に何を重点
に、どのような予算計画、手順で
取り組むのか。第一次阿波市総
合計画のような総体的なもので
なく、より具体的に、合併後十
年間を視野に入れた骨格計画を
創るべきと考えるが。

第一次阿波市総合計画に基
づき、予算の配分、重点化等を
検討しながら進めていく。

本庁舎を大きく建設しなく
とも、組織の見直しや民営化等
により人員削減や効率化は図れ
るもので、支所機能を生かしつ
つ、本庁舎は現庁舎を改修活用し、
新庁舎建設は取りやめるべきで
ある。代わりに、阿波市のシン
ボルとして、市民の交流の場、
文化発信の拠点として文化ホー
ルの建設を推進すべきであると
考えるが。

統合庁舎は、阿波市のシン
ボルでもあり、皆様の意見をま
とめながら建設の方向で取り組
みたい。

農水省補助事業である農地・
水・環境保全向上対策事業の阿
波市での取り組み状況は。

本市においては、三十一組
織で二千四百四十ヘクタール、全
体事業費八千八百二十万円で取
り組み予定。本事業は、地域の
活性化にもつながると考えてお

り、適正運用が図れるよう、積
極的に推進していきたい。

森本節弘 議員 (志政クラブ)



投資的経費削減の影響を受
け、公共事業が減少し、市内建
設業は衰退している。どのよう
な地元育成策をとるのか。

地元産業でもある建設業は
非常に厳しい状況にあることは
認識しており、地元育成の面
においても、地区割、分割施工等
も指名審査会において審議され
る市業者による施工ということ
を重点において発注していく考
えている。また、県・国にも交
付金事業、あるいは補助事業等
をできるだけ多く阿波市にお願
いするように、議員各位と陳情
もしたいと考えている。

市道における歩行者の安全
確保のため、自転車・歩行者等
安全対策道を、計画的に設置し
ていく考えはないか。

自歩道の整備については、
継続事業等順次事業を展開して
おり、国庫補助の対象となつて
いる。平成十九年度は、県道自
歩道に三億七千万円、市道にお
いては、交付金事業で二路線六
千七百万円を計上している。

農業所得の向上対策につ
いてどのように考えているか。

農地の集約化を図るとも
に、地産地消の推進等による農
産物の消費拡大を目指していく。
また、中核農家を育成し、ブラ
ンド品目を適量増やしていきたい。

農水省補助事業である農地・
水・環境保全向上対策事業の阿
波市での取り組み状況は。

本市においては、三十一組
織で二千四百四十ヘクタール、全
体事業費八千八百二十万円で取
り組み予定。本事業は、地域の
活性化にもつながると考えてお

木村松雄 議員 (志政クラブ)



市内CATVの番組内容に
ついて、幼稚園、小・中学校の
入学（入園）式、卒業（卒園）
式の取材、放映の予定は。

中学校の卒業式については、
十九年度から実施する。幼稚園
小学校は、今後番組審議会によ
く検討する。中学校の入学式も
同様である。

建設業、物品販売の市内業
者をどのような位置でとらえて
いるのか。

市内に百九十四社あり、地
場産業育成は私どもの使命であ
る。産業、雇用面においても市
にとつて重要な課題と認識して
いる。

市内小・中学校でAED（自
動体外式除細動器）が未設置の
学校について、九月補正で予算
化し対応することだが、も
つと前倒しで出来ないか。

人の命は地球より重いと言
われているように、命は大事に
しなければいけない。早く設置
の方向で努力する。

六月八日の電（ヒヨウ）に
よる農作物への被害について、
市の対応は。

市内全域を被害調査し、県
JA等と連携し、市としても支
援していく。

ケープルテレビ（ACN）
の放送内容について、地元のお
祭りなどの行事を紹介した一般
の視聴者からの投稿ビデオ等を
放送することで、市民が交流す
る機会の拡大につながるのでは
ないか、番組プログラムを「広報
阿波」等に掲載しては。

新しい取り組みとして、一
般の視聴者からの投稿ビデオ等
の放送も可能であり、番組審議
会でも協議されている。今後こ
れに関する要綱などを定めたい
と考えている。この募集につ
いては、文字放送や「広報阿波」
でもお知らせしたいと考えてい
る。番組プログラムについては、
2チャンネルの情報を利用して
いただきたいと思う。

第一次阿波市総合計画には、
阿波市の特性として、「阿讃山
脈を背に、吉野川をのぞむ、水
と緑の豊かな自然と共生するま
ち」と書かれている。また、定
例会開会日に市長から、市の花
はコスモス、木はケヤキ、鳥は
ウグイスに、選定委員会内で

定管理者制度導入の計画がある
児童館、保育所、養護老人ホ
ム吉田荘、公民館は、市民が直
接関係のある施設と思っている。
保育所は阿波市の少子化対策、
養護老人ホームは高齢者福祉、
公民館は地域住民の研修及び憩
いの場として利用されている。
指定管理者制度導入又は民営化
は、急がず今一度充分協議し、
慎重に移行していただきたい。

養護老人ホーム、保育所、
児童館等の指定管理者制度導入
は、今現在は部内での検討の段
階であり、今後組織体制を組み
立て、議論を重ね、市民の目線
に立った姿勢で真剣に議論し、
市民に喝采いただけるような方
向で検討していきたい。

教育コンピュター整備事
業について、夏休み中に完成さ
せるべきでないか。

議会の協力がいただければ
なら、執行時期に合わせてお願
いしたいと思う。

防災対策の啓発と市消防団
の強化について具体的に説明を
の強化について具体的に説明を
及び配布、転倒防止グッズの配
布、十九年度にポンプ車二台、
二十年度にポンプ車一台と可搬
タイプ二台、二十一年度に可搬
タイプ四台、二十二年度にポン
プ車一台と軽可搬タイプ一台の
更新を考えている。

企業誘致推進事業について、
工場誘致奨励条例を改正すべ
きと考えるが。

他市町村の事例等も踏まえ、
課内で十分勉強したい。

柿原堰の観光開発の進捗状
況は。

農地防災、取水事業の完成
時には、柿原堰と一体感のある
周辺整備事業を観光資源として
活用するため、国に強く要望し
ている。

総務省の臨時特例措置（繰
上償還）を活用するべきである
のを返しているように国に要望
していく。

議案だより第五号を皆様にお届けすることが出来ましたが、本会議の状況が
ケープルテレビにより市内全域でご覧いただけますが、議案だよりと併せて注目いた
だき、議会に対しての皆様のご意見・ご感想等をお寄せいただければ幸いです。（正木）



篠原啓治 議員 (無所属)

教育コンピュター整備事
業について、夏休み中に完成さ
せるべきでないか。

議会の協力がいただければ
なら、執行時期に合わせてお願
いしたいと思う。

防災対策の啓発と市消防団
の強化について具体的に説明を
の強化について具体的に説明を
及び配布、転倒防止グッズの配
布、十九年度にポンプ車二台、
二十年度にポンプ車一台と可搬
タイプ二台、二十一年度に可搬
タイプ四台、二十二年度にポン
プ車一台と軽可搬タイプ一台の
更新を考えている。

企業誘致推進事業について、
工場誘致奨励条例を改正すべ
きと考えるが。

他市町村の事例等も踏まえ、
課内で十分勉強したい。

柿原堰の観光開発の進捗状
況は。

農地防災、取水事業の完成
時には、柿原堰と一体感のある
周辺整備事業を観光資源として
活用するため、国に強く要望し
ている。

総務省の臨時特例措置（繰
上償還）を活用するべきである
のを返しているように国に要望
していく。

議案だより第五号を皆様にお届けすることが出来ましたが、本会議の状況が
ケープルテレビにより市内全域でご覧いただけますが、議案だよりと併せて注目いた
だき、議会に対しての皆様のご意見・ご感想等をお寄せいただければ幸いです。（正木）

平成19年第2回 阿波市議会定例会 議決結果一覧表

議案番号	議案名	提出年月日	議決年月日	議決結果
報告第1号	平成18年度阿波市一般会計継続費繰越計算書について	H19. 6.12	H19. 6.22	承認
報告第2号	平成18年度阿波市一般会計繰越明許費繰越計算書について	H19. 6.12	H19. 6.22	承認
報告第3号	平成18年度阿波市介護保険特別会計繰越明許費繰越計算書について	H19. 6.12	H19. 6.22	承認
報告第4号	平成18年度阿波市水道事業会計予算繰越計算書について	H19. 6.12	H19. 6.22	承認
議案第42号	平成19年度阿波市一般会計補正予算（第1号）について	H19. 6.12	H19. 7. 3	撤回
議案第43号	平成19年度阿波市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）について	H19. 6.12	H19. 7. 3	原案可決
議案第44号	平成19年度阿波市老人保健特別会計補正予算（第1号）について	H19. 6.12	H19. 7. 3	原案可決
議案第45号	平成19年度阿波市介護保険特別会計補正予算（第1号）について	H19. 6.12	H19. 7. 3	原案可決
議案第46号	阿波健康福祉センター設置及び管理に関する条例の一部改正について	H19. 6.12	H19. 7. 3	原案可決
議案第47号	阿波市営住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正について	H19. 6.12	H19. 7. 3	原案可決
議案第48号	阿波市体育施設条例の一部改正について	H19. 6.12	H19. 7. 3	原案可決
議案第49号	阿波市ケープルテレビ施設整備工事（第1工区）請負契約の締結について	H19. 6.12	H19. 7. 3	原案可決
議案第50号	阿波市ケープルテレビ施設整備工事（第2工区）請負契約の締結について	H19. 6.12	H19. 7. 3	原案可決
議案第51号	阿波市ケープルテレビ施設整備工事（第3工区）請負契約の締結について	H19. 6.12	H19. 7. 3	原案可決
議案第52号	伊沢小学校大規模改造工事請負契約の締結について	H19. 6.12	H19. 6.12	原案可決
議案第53号	字の区域の変更について	H19. 6.12	H19. 7. 3	原案可決
議案第54号	阿波市道路線の認定について	H19. 6.12	H19. 7. 3	認定
議案第55号	教育委員会委員の任命について	H19. 6.12	H19. 6.22	同意
議案第56号	公平委員会委員の選任について	H19. 6.12	H19. 6.22	同意
議案第57号	公平委員会委員の選任について	H19. 6.12	H19. 6.22	同意
議案第58号	固定資産評価員の選任について	H19. 6.12	H19. 6.22	同意
議案第59号	平成19年度阿波市一般会計補正予算（第1号）について	H19. 7. 3	H19. 7. 3	原案可決

補正予算の説明

- 一般会計/議案第42号一般会計補正予算（第1号）総務費中、土地取得のための公有財産購入費が計上されていましたが、より一層の調査検討が必要なため、同議案撤回の申し出があり承認された。その後、公有財産購入費を減額した議案第59号が提出され、原案どおり可決された。補正予算額は、222,000千円で、補正後の予算額は、19,197,000千円である。
- 国民健康保険特別会計/補正予算額は、35,261千円で、補正後の予算額は、4,551,079千円である。
- 老人保健特別会計/補正予算額は、8,000千円で、補正後の予算額は、5,001,734千円である。
- 介護保険特別会計/補正予算額は、9,644千円で、補正後の予算額は、3,491,699千円である。

●請願（不採択1件）

- 産業廃棄物等から自然環境と生活環境を守るための請願書

〈議会だより編集雑感〉

議案だより第五号を皆様にお届けすることが出来ましたが、本会議の状況が
ケープルテレビにより市内全域でご覧いただけますが、議案だよりと併せて注目いた
だき、議会に対しての皆様のご意見・ご感想等をお寄せいただければ幸いです。（正木）